

2019 年 5 月 15 日

株式会社 P A L T A C ・ Kyoto Robotics 株式会社 協業によるマスターレスの物流自動化を推進



株式会社 P A L T A C（以下、P A L T A C 本社・大阪市 代表取締役社長 糟谷 誠一）と Kyoto Robotics 株式会社（以下、K R C 本社・滋賀県草津市 代表執行役社長 徐 剛）は、ケースピッキングにおける自動化に関するパートナーとして取組むことに合意いたしました。

P A L T A C は、将来の労働人口減少を見据え、人員生産性が 2 倍となる独自開発の次世代型物流システム「S P A I D」を開発し、昨年 8 月に「R D C 新潟」（新潟県見附市）を稼働いたしました。現在、さらに高機能・高生産性を実現するセンターとして「R D C 埼玉」（埼玉県北葛飾郡杉戸町、2019 年 11 月稼働予定）の建設を進めております。P A L T A C と K R C との協業により、「R D C 埼玉」において、ケースピッキングにおける事前のマスター登録不要の、高機能・高速の A I ロボットを新たに導入することに合意いたしました。

K R C ソリューションの最大の特徴は、独自開発の「目（ビジョンセンサ）」と「脳（A I）」を活用することで、従来必要であったマスター登録作業が不要となることです。P A L T A C が運用する物流センターでは、常時 2 万種類以上の商品を在庫し、さらに毎年 1 万種類近い商品が入れ替わる状況にあります。K R C のケースピッキングロボットを導入することにより、商品ごとに異なるケースのサイズや重量を、導入初期及び改廃の都度行っていたマスター登録が不要となるとともに、時間当たりの処理能力も向上いたします。

〈K R C が提供するケースピッキングロボットの特徴〉

- ① ケース 3 寸法（幅・奥行き・高さ）や重量の事前登録作業が不要
（ビジョンセンサと A I 等によりロボット自身が認識）
- ② ケース把持位置の事前登録が不要（把持位置をロボット自身が決定）
- ③ ケースピッキングと同時に 3 寸法や重量をデータ化して登録
- ④ ピッキングスピード向上（1 台当たり 700 ケース／時間）

という優れた特徴を有し、ピック数を指示するだけでピッキングが可能となり、従来、人に出していた指示形態（個数指示のみ）と近い状況でロボット作業が実施できます。

〈期待する成果と今後の展開〉

P A L T A C と K R C との協業により、これまで物流業界では困難であったケースハンドリングのマスターレスによる自動化を実現し、さらなる活用・応用範囲を広げることで生産性の向上を追求し、事業の持続的成長を図ってまいります。

〈K R Cの概要〉

商 号	Kyoto Robotics 株式会社
所 在 地	滋賀県草津市野路 1-15-5
代表者の氏名	徐 剛（代表執行役社長）
設 立	2000 年 ・立命館大学教授でもある徐氏の3次元ビジョン研究の成果を活かして設立されたベンチャー企業。
事 業 内 容	・3次元計測、3次元認識、3次元ロボットビジョンセンサ、目と脳を持った知能ロボットなど、数多くの技術と製品を開発。 ・2018年6月に、日本を代表するベンチャー・J-Startupの1社に選ばれています。現在は、工場自動化向けの3次元ロボットビジョンセンサと物流自動化向けのケースピッキングロボットの開発・販売を展開。 ・物流向けソリューションの基本理念 「独自技術の「目」と「脳」で物流に新しいソリューションを提供」 ロボットに「目」と「脳」を持たせ物流における作業を自動化商品詰め替え（ピースピッキング）、積付け／デパレタイズ（ケースピッキング）といった重労働・単純労働から人間を解放し、無人倉庫実現により、物流の歴史を根本から変える。

- （注） 1. R D C（Regional Distribution Center）：大型物流センター
2. J-Startup：経済産業省が推進するスタートアップ企業の育成支援プログラム

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

《株式会社P A L T A C》

研究開発本部・三木田（TEL 06-7167-4401）

経営企画室・嶋 田（TEL 06-4793-1090）

《Kyoto Robotics 株式会社》

人事広報部・諸 岡（TEL 03-6457-0899）

〈ご参考〉

パレット上のケースをコンベアへ自動搬送

